



## 指導ポイント&ヒント

### 第12課 「ぶんすうの ひきざん ②ちがう ぶんぽ」

- 【指導内容】 ①異分母分数の引き算場面  
②異分母分数の引き算の計算方法

参考：「東書」6年上 22～23

- 【日本語】 ①「どちらが～」→ どちらが長いでしょう。  
②「このままでは～できない。」→ このままでは計算できません。

【概念図】 ① 分母が異なる分数の引き算場面を知る（1）残りを求める場面

- ・  $\frac{1}{2}$  mのテープから  $\frac{1}{3}$  m分切り取ると何mの長さになるかという問題

場面で異分母分数の引き算について考える。

- ・ 11課で学習した「通分」を利用して計算する。

② 分母が異なる分数の引き算場面を知る（2）違いを求める場面

- ・ 2者の数量の違いを求める場面で分母が異なる分数の引き算をする。

③ 分母が異なる「帯分数」の足し算と引き算の計算をする。

- ・ 帯分数と仮分数の関係について復習する。
- ・ 分母が異なる「帯分数」の足し算と引き算の計算をする。



12課  
ようごとぶん

Unidad 12  
Palabra y Frase

ようご	Palabra
どちら	cuál
ながい	largo

ぶん	Frase
どちらがながいですか。	¿Cuál es más largo(a)?

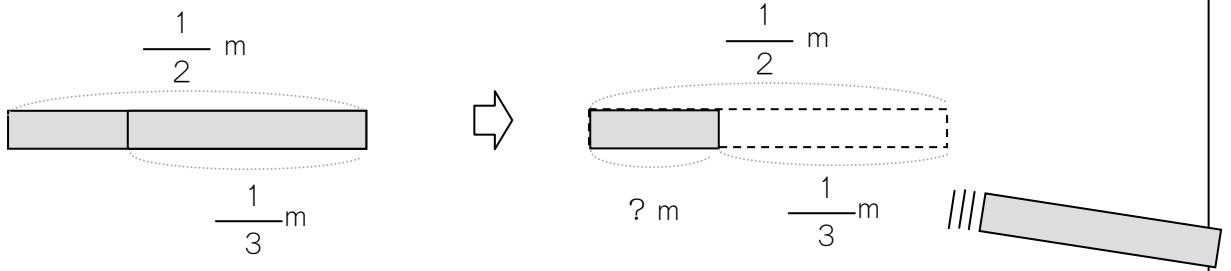


# 12 ぶんすうの ひきざん ②ちがう ぶんぽ

1

分母が異なる分数の引き算場面を知る (1) 残りを求める場面

$\frac{1}{2}$  m のテープから  $\frac{1}{3}$  m ぶん きり取ると、  
のこりは なん m の ながさになりますか。



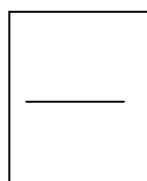
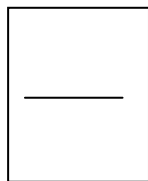
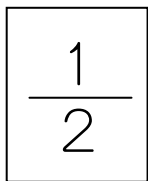
$$\frac{1}{2} - \frac{1}{3} =$$



ぶんぽ(した)がちがうので、  
このままでは  
けいさんできません。

2 ばい

3 ばい



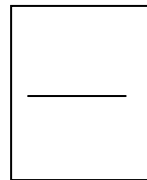
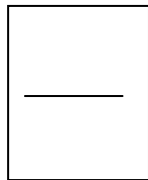
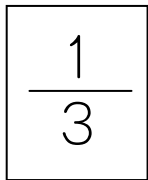
つうぶんして けいさんしましょう。

2 ばい

3 ばい

2 ばい

3 ばい



2 ばい

3 ばい

こたえは  $\frac{1}{6}$  ですね。

$$\frac{1}{2} - \frac{1}{3} = \frac{3}{6} - \frac{2}{6}$$

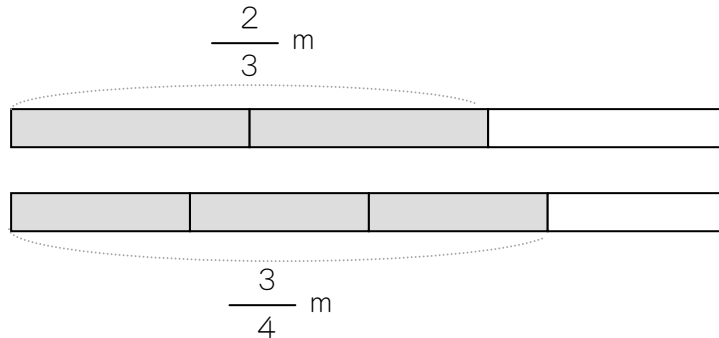


2

分母が異なる分数の引き算場面を知る (2) 違いを求める場面

$\frac{2}{3}$  m のテープと  $\frac{3}{4}$  m のテープがあります。

① どちらがながいですか。



② なん m ながいですか。

これも つうぶんしないと いけません。

$$\frac{3}{4} - \frac{2}{3} =$$

2 ばい

3 ばい

4 ばい

$$\frac{3}{4}$$

$$\frac{\quad}{\quad}$$

$$\frac{\quad}{\quad}$$

$$\frac{\quad}{\quad}$$

2 ばい

3 ばい

4 ばい

2 ばい

3 ばい

4 ばい

$$\frac{2}{3}$$

$$\frac{\quad}{\quad}$$

$$\frac{\quad}{\quad}$$

$$\frac{\quad}{\quad}$$

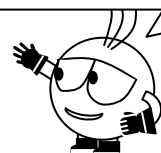
2 ばい

3 ばい

4 ばい

$$\frac{3}{4} - \frac{2}{3} = \frac{9}{12} - \frac{8}{12}$$

こたえは いくつ ですか。



つぎの けいさんをしましょう。

$$\textcircled{1} \frac{3}{4} + \frac{2}{3} =$$

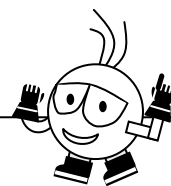
$$\textcircled{2} \frac{3}{4} - \frac{1}{3} =$$

$$\textcircled{3} \frac{1}{4} + \frac{2}{5} =$$

$$\textcircled{4} \frac{2}{5} - \frac{1}{4} =$$

$$\textcircled{5} \frac{3}{5} + \frac{2}{7} =$$

$$\textcircled{6} 1\frac{2}{9} - \frac{6}{7} =$$



たいぶんすうのときは、

かぶんすうに なおして けいさんします。

$$1\frac{2}{9} = \frac{9}{9} + \frac{2}{9} = \frac{11}{9}$$



ぶんすうの まえに  
1や2などが ついている  
ものを たいぶんすうと  
いいます。  
おぼえていますか。

1は ぶんすうに なおすと、

$$\frac{1}{1} \frac{2}{2} \frac{3}{3} \frac{4}{4} \cdots \frac{7}{7} \frac{8}{8} \frac{9}{9} \text{ となります。}$$

このなかから おなじ ぶんぼの  $\frac{9}{9}$  を つかいます。